



2022年3月7日

各 位

広島市安佐南区祇園3丁目28番14号  
株式会社アスカネット  
代表取締役社長 松尾 雄司  
(コード番号: 2438 東証マザーズ)  
問合せ先: 専務取締役CFO 功野 顕也  
電話番号: 082(850)1200

## 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2021年6月11日に公表いたしました2022年4月期(2021年5月1日~2022年4月30日)の通期業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 通期業績予想の修正(2021年5月1日~2022年4月30日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想(A)	6,270	285	285	200	11.87
今回修正予想(B)	6,326	441	445	312	18.57
増減額(B-A)	56	156	160	112	
増減率(%)	0.9	54.7	56.5	56.4	
(ご参考) 前期実績 (2021年4月期)	5,773	277	330	225	13.39

#### 2. 修正の理由

当社の主力事業の一つであるフォトブック事業において、特にウェディング向け写真集市場では新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けているものの、その影響は期初の想定ほどではありませんでした。また、空中ディスプレイ事業において特に海外でコロナ禍からの回復による営業活動の再開が想定より遅れておりますものの、フューネラル事業においては新規顧客獲得が堅調に推移したうえ、フォトブック事業においてスタジオ向け写真集が好調であったため、一般消費者向け写真集売上は厳しい状況ですが、売上は前回発表予想を若干上回る見込みとなりました。

利益につきましては、空中ディスプレイ事業において研究開発費が増加するなど積極的な先行投資を行っているものの、特にフォトブック事業において売上の増加に伴い自社工場の稼働率が回復したことにより当該セグメントの売上総利益が計画を大きく上回る見込みとなりました。加えて、フューネラル事業においても利益率が相対的に高い画像加工収入が好調だったことによりセグメント利益が

計画を上回る見込みとなったことから、第4四半期に計上が見込まれる研究開発費や広告宣伝費等を加味し、通期業績予想を修正することといたしました。

なお、2022年4月期の配当予想につきましては、2021年6月11日に公表しました1株あたり7.00円から変更ありません。

※上記予想は、本資料公表日現在において当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上